

国道25号(斑鳩町内三室交差点～王寺町内本町1丁目交差点)の抜本的な渋滞対策について

【担当省庁】国土交通省

王寺町・三郷町・斑鳩町における取組

(背景)

●三大都市圏の間に位置する奈良県王寺町においては、平成31年3月にJRおおさか東線の開業により、JR王寺駅と新大阪駅が直結され、観光に加え多くの方々が活発に行き交う対流拠点となることから、王寺駅周辺の交通結節機能及びアクセス性の向上が期待されている。さらに、15年後にはリニア中央新幹線の全線開業も予定しており、更なるポテンシャルの向上が期待される。

(現状・課題)

●奈良県西和地域における交通結節機能の重要な要である「国道25号」においては、バイパスとしてのいかるがパークウェイ、ならびに県による国道168号の4車線整備といった幹線道路整備が着実に進んでいる一方、国道25号と国道168号が重複する当該区間約1.2kmが2車線のため、ボトルネックとなっており、渋滞が長年の課題となっている。

●当該地域は、西和消防署・西和医療センター・恵王病院といった救急救命に関する機関が集中するエリアとなっており、救急搬送の円滑化が求められている。

●また、国道25号は、第1次緊急輸送道路及び重要物流道路に指定されていることから、近年、激甚化する豪雨災害や、今後30年以内に発生すると予想されている南海トラフ地震を考えると、当該区間の道路改良を早急に実施する必要がある。



国にお願いすること

- ◎ ボトルネック区間における恒常的な渋滞の把握・原因分析
- ◎ 西和地域のまちづくりを踏まえた「4車線整備の新規事業化」を含む抜本的な渋滞対策の早期検討
- ◎ これらに必要な道路予算の確保